

千種高2年の秦陽乃さん

ライフル競技 全国大会へ



ライフル射撃で全国大会出場を決めた千種高2年の秦さん。背景は千種町千草

男女混合近畿3位 出場権つかむ

宍粟市千種町の千種高校ライフル射撃部2年、秦陽乃さん(17)＝同市山崎町＝がこのほど、男女混合で開催された近畿大会のチームライフル競技で3位に入り、来年3月に熊本県で開催される全国大会への出場権を獲得した。抜群の集中力で県大会でも高得点を記録しており、全国上位入賞が期待されている。

(古根川淳也)

集中力、胆力…目指すは頂点

宍粟

チームライフルは弾の代わりに光線が出る銃で、10発先にある直径約4・5センチの的を狙う。得点は0～10・9点まで0・1点ずつ設定され、10点台を出すには中心の直径1ミリの円に当てなければならない。競技では45分の制限時間内に60発撃って合計得点を競う。

銃の重さは約4・5キログラムあり、手ふれのため中心に照準を固定するのは難しい。だが秦さんは今年9月の県大会で、60発のうち中心を外したのは3発だけという正確さで624・5点の自己ベストを記録。男女合わせて46人の中から優勝を勝ち取った。

11月22日に大阪府で開催された近畿大会では621・7点。大会記録の629・8点を出した滋賀県の女子選手らに敗れたが、男子選手を抑えて3位に入り、全国大会出場を決めた。

秦さんは山崎東中時代は吹奏楽部に所属し、高校でライフル射撃部に入ったの

は「とりあえず」。特に思の強さの秘密を「集中力がい入れはなかったが、的に当たる楽しさ、週5日の部活動では筋トレにも励んだ。ただし練習時間は40分程度と短期集中型で、先輩から習った基本を練習していたら「勝手にうまくいった」という。

チームメイトらは秦さん

頂点の座を目指す。